

# かけはし

## 116号

発行者：会長 加藤哲男  
編集：広報部会

発行／宇都宮保護区保護司会 〒320-0864 宇都宮市住吉町10番16号 TEL・FAX 028-633-6771 E-mail:utsunomiya@hogoshikai.jp

## 「持続可能な地域密着型保護司会を目指して」

宇都宮保護区保護司会 会長 加藤 哲 男



令和7年度宇都宮保護区保護司会の会長に就任いたしました加藤哲男と申します。平素より、保護司活動並びに当会の運営に対し、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

さて、宇都宮保護区保護司会は、昭和26年3月に発足し、本年で75周年という大きな節目の年を迎えることとなりました。戦後間もない混乱期に産声を上げて以来、幾多の社会的変化を乗り越えながら、更生保護の理念のもと、地域社会の安全と安心を支える役割を果たしてまいりました。この長きにわたる歩みは、歴代会長をはじめとする先人の皆様、そして現役・OBの保護司一人ひとりの献身的な努力の積み重ねによるものであり、改めて深い敬意と感謝を表する次第であります。

これまで当会の活動は、研修会や会議、関係機関との連携調整など、いわゆる内部的な事業が中心となってきました。これらは保護司としての資質向上や組織運営の安定に不可欠なものであり、今後も継続していく必要があります。一方で、社会構造や地域コミュニティの在り方が大きく変化する中、保護司会としての役割も、時代に応じた見直しが求められていると感じております。

今後は、保護司一人ひとりが地域に積極的に向き、保護司会として地域社会と直接つながる活動をより一層推進していきたいと考えております。更生保護は、地域

住民の理解と協力があってこそ成り立つものであり、地域に根差した地道な活動をとおして、保護司の存在や役割を広く知っていただくことが重要です。顔の見える関係づくりを重ねることで、地域全体で更生活動を支える土壌を育てていきたいと考えております。

一方で、保護司の適任者の確保は、全国的にも深刻な課題であり、当会においても避けて通ることのできない問題です。活動内容や責任の重さに対する不安、仕事や家庭との両立の難しさなど、さまざまな要因が担い手不足につながっています。こうした現状を踏まえ、活動の負担軽減や支援体制の充実を図るとともに、保護司活動の意義とやりがいを分かりやすく発信し、次世代へとつなげていく取り組みが必要であると考えております。

宇都宮保護区は、全国の保護区の中でも人数規模において約20番目に位置する大きな保護区です。この規模に見合った活動を展開し、地域や関係機関から信頼され、必要とされる保護司会であり続けることが、私たちに課せられた責務であると考えております。そのためにも、会員相互の連携を一層深め、組織力の強化を図ってまいります。

75年という節目は、これまでの歩みを振り返ると同時に、次の時代に向けて新たな一歩を踏み出す好機でもあります。長い歴史の中で培われてきた精神と実績を礎に、持続可能な地域密着型保護司会を目指し、地域に貢献してまいりたいと思います。今後とも、皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### 日時計

毎朝起きると、新聞受けから新聞を取り、世の中の動きに目を通す事を日課としている。

る。その中で関心がある事は、「米の価格高騰」である▼一般消費者から見れば死活問題で、生活のやり繰りが大変である。なんとかしていただきたいと考える▼私は、農業従事者として、特に影響を感じないが、一日も早く誰もが納得する対策を取ってほしいと思う▼また、自分の健康のため「米と野菜」を家族と一緒に、毎年繰り返し作っている。中でもスイカは、直売所に出荷し、利用者の方々「特に高齢者」に歓迎されている。これも、自分の「健康維持」と「家族の助け」と思っている▼他方「事件・事故・災害」等が連日発生しており、目を覆いたくなる。時の流れが、昔と違い早くなりすぎ、余裕がないのではないかと思う▼このような状況の中、地域・団体が連携を密にして、少しでも「事件・事故等」を減らす事ができればと考える。

河内分區 六本木 保仁

# 栃木県更生保護事業関係者顕彰式

11月25日（火）13時30分から宇都宮市文化会館小ホールにて、「令和7年度栃木県更生保護事業関係者顕彰式」が開催されました。

県内から340人が出席し、宇都宮市では61人に表彰状・感謝状が贈呈されました。

栃木県保護観察協会青木理事長の開会の辞で開会し、栃木県保護司会連合会佐竹会長の式辞、宇都宮保護観察所中島所長の挨拶の後、法務大臣表彰の伝達をはじめ、各種顕彰が厳かに行われました。

顕彰終了後、受彰者代表謝辞、来賓祝辞等が行なわれ、更生保護法人栃木明德会石崎理事長による閉会の辞で閉会しました。

令和7年11月25日  
宇都宮市文化会館小ホール



栃木県保護観察協会青木理事長の挨拶

## ～栄えある表彰を受けられた方々～ 宇都宮保護区（敬称略）

❁ **藍綬褒章** 令和7年春 安納ミツ子（北部）  
令和7年秋 大泉百合子（北部）

❁ **法務大臣表彰**  
下妻 久男（東部） 荒井智英子（東部）

❁ **局長感謝状**  
下妻 久男（東部）

❁ **全国保護司連盟理事長表彰**  
上野 節子（陽南） 中山 敬子（陽東）

❁ **関東地方更生保護委員会委員長表彰**  
住倉 幸和（西部） 福嶋 政江（陽北）  
内山真理子（陽西） 高橋 三郎（南部）  
齋藤 正光（陽東） 篠崎 元昭（陽南）  
白相 寛（陽東） 嶺 緑（河内）

❁ **関東地方保護司連盟会長表彰**  
鮎澤ゆり子（東部） 横山 昇三（陽西）  
平野 朱美（北部） 星 悦子（陽北）  
金田 久子（南部） 添田 圭（東部）  
佐藤 義晴（南部）

❁ **栃木県知事感謝状**  
今泉 知明（中央） 佐久間豊子（西部）

❁ **宇都宮保護観察所長表彰**  
赤坂 信行（北部） 朝日 雅昭（北部）  
上鈴木昌美（河内） 小林 綱芳（西部）  
澤田 明彦（陽北） 菅原 一浩（河内）  
直井 茂（東部） 仲田 陽介（中央）  
平松 明夫（陽東） 藤島 拓（陽西）  
山本 和紀（北部） 六本木保仁（河内）  
金田 大史（陽西） 齋藤 幸一（陽北）  
斎藤 康史（中央） 嶋田 辰雄（陽北）  
関口 忠史（中央） 高野恵美子（陽西）  
竹田 真臣（陽北） 土田 民江（北部）  
野澤 賢二（東部） 山上 武志（南部）  
横山 崇（陽北）

❁ **栃木県保護司会連合会表彰**  
牛山 房子（北部） 鈴木 直行（陽西）  
廣木 典子（北部） 茂木祐佳里（陽東）  
谷田部洋子（河内） 金神 圭子（中央）  
小平 晴史（南部） 小花 伸子（中央）  
千賀 貴司（陽南） 細田 孝一（陽南）  
三浦 正彦（北部） 築瀬美奈子（河内）

❁ **宇都宮保護観察所長感謝状**  
山崎 育子（東部）

## 令和7年度 社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式



ミヤリーちゃんと一緒に

令和7年12月22日 (月)  
市役所特別会議室 16時30分～

今年度の受賞者(中学生3人、1人欠席)と保護者の方々が参加し、主催者である宇都宮市の佐藤市長から祝辞が述べられ、宇都宮市長、宇都宮保護区保護司会、宇都宮更生保護女性会の会長より表彰されました。

おめでとうございます

【小学生の部】

佳作

生まれかわった大どろぼう

作新学院小学部 2年 國吉 桃美さん

【中学生の部】

宇都宮市推進委員会委員長賞 (宇都宮市長賞)

思いやりが広がる明るい社会

宇都宮市立一条中学校 1年 相澤ひめ乃さん

宇都宮保護区保護司会会長賞

犯罪を防ぐには

宇都宮市立国本中学校 1年 君島 萌香さん

宇都宮更生保護女性会会長賞

こころつなく、やさしさつなく

宇都宮市立国本中学校 3年 柏次 結愛さん

佳作

小さな思いやりが社会を変える

宇都宮東高等学校附属中学校 2年 神藏 唯花さん

社会を明るくするために

宇都宮市立豊郷中学校 1年 佐藤 帆夏さん

「小さな勇気で広がる優しさ」

宇都宮市立河内中学校 3年 渡邊 祥羽さん

負のループをたち切るために

宇都宮市立宝木中学校 2年 本澤鼓太郎さん

## 令和8年新年自主研修・懇親会

令和8年1月20日 (火)  
宇都宮東武ホテルグランデ 14時～

参加者 ・研修会80人 ・懇親会62人 ・来賓7人

今年の研修会も昨年同様、懇親会の会場を兼ねて各分区分ごとの円卓での席で行なわれました。講師は、宇都宮保護観察所長中島裕司氏で、初めに「行政ボランティアシンポジウム」が盛大に開催できた話があり、次に「更生保護制度の充実を図るための保護司法等の一部を改正する法律案」について改正のポイントを説明してくださいました。



研修会の様子

特に保護司の適任者確保については今の時代を考えて保護司像を明確化し、人格識見が高いことや職務の遂行に必要な時間を確保できること



花束を受け取る受賞者の皆さん

との必要性を強調していました。

さらに候補者探しについて保護観察所長の責務とすることや保護司の任期の延長についても説明がありました。

また、保護司の活動環境の改善については地方公共団体による保護司会等への協力規定の整備や民間企業での従業者である保護司への配慮規定の新設への説明もありました。

具体的でわかりやすい講話であったと思います。

懇親会では藍綬褒章を受賞された大泉百合子さん、法務大臣賞を受賞された下妻久男さん、荒井智英子さんに花束が贈られました。

## 地域のチカラ×地方創生 行政ボランティアシンポジウム

### 中島宇都宮保護観察所長の熱い思い

～地域の安全安心を守る保護司・民生委員・人権擁護委員・行政相談委員が集まって～

宇都宮保護観察所長 中島 裕 司



令和7年12月18日(木)、栃木県において、全国初となる行政ボランティアシンポジウム(以下、「シンポジウム」という。)を開催しましたので、その状況について御報告したいと思います。

シンポジウム開催のきっかけは、同年6月13日に閣議決定された「地方創生2.0基本構想」と併せて策定された「地方創生2.0基本構想施策集」(14頁)において、「(58)行政相談委員と民生委員、保護司、人権擁護委員などと連携した地域課題解決」が盛り込まれたことです。

シンポジウム当日には、県内の行政ボランティアや県外からお越しいただいた方々を含め約230名の方に来場いただくとともに、北は北海道から南は九州に至るまで事前申し込まれた約130名の方がオンラインで参加いただきました。なお、シンポジウム当日の状況については、H@において掲載しておりますので、是非とも御覧いただければ幸いです。

第1部「行政ボランティアの制度等概要」について制度を所管する省庁の担当官からの説明に引き続き、第2部では、行政ボランティアの方々から「実際の活動の様子ややりがい」、「担い手確保の方策や各ボランティア同士の横の繋ぎの在り方」について、まさに生の声を頂戴することができました。

第1部「行政ボランティアの制度等概要」について制度を所管する省庁の担当官からの説明に引き続き、第2部では、行政ボランティアの方々から「実際の活動の様子ややりがい」、「担い手確保の方策や各ボランティア同士の横の繋ぎの在り方」について、まさに生の声を頂戴することができました。

#### ア 実際の活動の様子ややりがいについて

○30年も前に関わった家族が挨拶に来てくれた。当時は自分の思いや活動が通じず、無力感を感じることもあったけれど、あの時精一杯関わってきたことは間違っていなかったんだと感じた。

○子供が小さい頃、地域の方に散々お世話になった。もしその何分の一でも恩返しができるのであれば、私で出来ることがあるのであれば、その思いだけでここまで活動してきた。これからも私のできる範囲でしかできないが、できることはやりたいと思っている。

などの御発言がありました。

イ 担い手確保の方策や各ボランティア同士の横の繋ぎの在り方について

○どのボランティアも担い手不足だが、ボランティア同士で連携し合いながら、それぞれの課題克服に向けたネットワーク作りができたらいと思う。

○担い手確保については、やりがい、それに伴う喜び、経歴・専門知識だけではなく、人生経験が大切なんだと訴えることが重要。やってみようかなと思う方が、安心するかどうか、敷居が低くなるようにしたい。

などの御発言がありました。

最後に、まとめとして、当日進行を担当した私から、「こういったボランティアをするために、特別な資格は必要ありません。大切なのは、資格ではなくて、皆様のこれまでの人生経験と、困ったことがあったらお互い様の気持ちだと考えています。私たち地域のみならず、お互い様の気持ちで、今日御紹介いただいたような役割を、誰か限られた方たちだけでその全てを担うのではなくて、みんなでちょっとずつできることに取り組んでいくことが求められているのかなと感じております。人口が減少していく中で、確かに、地域には生きづらさを抱えながら生活をしている人たちがいます。ですが、私たちも、大なり小なりちょっとした何かを抱えながら日常生活を生活しているわけです。だからこそ、お互い様の気持ちで、私たちみんなで地域を支えていく、そうやってみんなで地域を紡いでいく、そんな近未来がすぐそこまで来ているんだろうと思うわけです。」と申し上げました。

今後は、栃木県内のどこかの保護区保護司会において、シンポジウムを踏まえた具体的な試みに挑戦したいと考えていますし、こういった試みを重ねていくことで、保護司の存在とか価値といったものを地域にしっかりと伝えていきたいと考えています。



パネリストの皆さん

## 第Ⅱ期 研 修

- ・ 令和7年9月10日（水）13：30～15：00
- ・ 場 所 宇都宮市役所 14階会議室
- ・ 講 師 保護観察官 武田 祥史氏
- ・ テーマ 報告書の書き方について
- ・ 参加者 113人



武田氏の講話



## 保護司会・更女合同研修会

研修会は毎年交代で企画しており、今回は保護司会が担当しました。テーマは近年多発している「特殊詐欺」。講師は市内の警察署の方にお願ひしました。また、多くの方が参加できるように平日の夜や土曜日に実施することにしました。

研修会では、どの回も実例をあげて説明され、特殊詐欺の手口や実態がよくわかりました。

### 開催場所

- ◆11月11日（火）18：00～20：00
- ・ 場 所 宇都宮市南図書館
- ・ 講 師 宇都宮南警察署  
生活安全課長 沖田 順一氏
- ・ 参加者 保護司42人 更女5人 観察官1人



沖田氏の講話に聞き入る

## 第Ⅲ期 研 修

- ・ 令和7年12月4日（木）13：30～15：00
- ・ 場 所 宇都宮市役所 14階会議室
- ・ 講 師 保護観察官 大石 謙太氏
- ・ テーマ 貧困問題を抱える対象者について
- ・ 参加者 84人

## 施設参観研修

- ・ 令和7年10月7日（火）
- ・ 施 設 東京高等裁判所
- ・ 参加者 40人

裁判所内には朝ドラ「虎に翼」で裁判官が着用していた服が展示されていて感動した。裁判の様様を自由に傍聴する事ができ普段の生活では経験できない貴重な体験ができた。

〈参加者 F・C〉



高等裁判所の前で

- ◆11月14日（金）14：00～16：00
- ・ 場 所 宇都宮市文化会館
- ・ 講 師 宇都宮中央警察署  
刑事第二課長 本郷 剛士氏
- ・ 参加者 保護司33人 更女12人 観察官1人
- ◆11月15日（土）14：00～16：00
- ・ 場 所 宇都宮市東図書館
- ・ 講 師 宇都宮東警察署  
刑事管理官 福田 亮氏
- ・ 参加者 保護司30人 更女7人 観察官1人

## 自主研修会

### 〈南部分区〉

- ・ 日 時 令和8年2月13日（金）14：30～
- ・ 場 所 宇都宮保護観察所
- ・ 内 容 保護観察所見学、裁判傍聴
- ・ 参加者 10人

### 〈河内分区〉

- ・ 日 時 令和8年2月13日（金）9：00～
- ・ 場 所 地区市民センター
- ・ 内 容 拘禁刑の概要
- ・ 参加者 10人

### 〈東部分区〉

- ・ 日 時 令和8年3月13日（金）～14日（土）
- ・ 場 所 真岡市チャットパレス（宿泊研修）
- ・ 内 容 保護観察官講話等



中央分区 <sup>さいとう</sup> 齋藤 <sup>やすし</sup> 康史さん

現在、中央分区副分区長として、分区運営を力強く支えて下さっている齋藤さんをご紹介します。お人柄については「誠実」という一語に尽きるかと思えます。地道にきっちりとして役目を果たすとても頼りになる存在です。

今回、改めてご自分の性格について伺ったところ即座に「温厚」という言葉が返ってきました。そして「人に厳しいことをいえないというのが、自分の長所でもあり短所でもある」とのこと。

市役所勤務で印象的な思い出は、茂原清掃工場南に下水道資源化工場を作るための住人対策だと振り返ります。下水の汚泥をもって来る「迷惑施設」ということで、地元の反対が根強く戸別訪問を毎日何十軒も、それこそ同じ家を何回も説得して回ったとか。好きな言葉が「石の上にも三年」というのは大納得です。そしてご趣味が一步一歩登っていく「登山」というのも!!

まさに齋藤さんのような温厚さと我慢強さ、根気強さが最も保護司に求められる資質なのでしょう。私も爪の垢を煎じて…。

齋藤さんは、担当した三人の少年のうち二人は反省して立ち直ってくれたと手ごたえを実感する一方で、少年一人が少年院に戻ってしまったこと、また三年間担当した対象者が最初とあまり変容が見られなかったことが心残りと言います。もっとやれることがあったのではと、次の機会に向けて前向きでいます。

現在、腰からきているのか右足がしびれて力が入らない状態ですが、持前の根気強さで整体やストレッチに取り組み、好転してきているとのこと。これからも、持ち味を活かして一層ご活躍いただけるものと期待しております。(無理はなさらずに!)

〈インタビューー 板垣 博史〉



陽北分区 <sup>かめい</sup> 亀井 <sup>てるあき</sup> 照明さん

亀井照明さんは平成15年10月に八坂神社の葎田さんから誘われ保護司になりました。今年で23年目を迎える保護司の大先輩です。昨年、荒山秀夫さんから陽北分区長を引き継ぎ精力的に活動されています。趣味はお囃子で47年のキャリアをお持ちです。その間述べ600人以上もの子供たちを指導し、楽しい時間を過ごされたそうです。今年も元日からショッピングセンターでお囃子演奏会をなさったとのこと。

保護司活動の経験をいくつかお聞きしました。

再犯を犯した少年に新潟の少年院まで面会に行ったこと、環境調整で訪問した際に親の相談相手になったこと、病気の対象者が救急車で運ばれその後行方不明になったこと等、様々な経験をお持ちでした。その都度無力な自分を思いつつも対象者に寄り添って、自分たちにも明るい未来があると前向きに歩んでもらえたら良いなと思っているそうです。

保護司を始めた時にはあまりに気負い過ぎて重荷に感じたこともあったそうです。その時に先輩保護司の方から「忘れる事も大事。終わってから道ですれ違えば、普通の人として接するだけでいいんだよ。」とのアドバイスをいただき、だいぶ楽になったと話してくれました。嬉しかった事をお聞きしました。宮まつりでお囃子の演奏をしている時に、保護観察処分を満了した対象者が彼女を連れて亀井さんに挨拶に来てくれたことを挙げてくれました。普通の挨拶だったそうですが、「保護司になって良かったな」と感じたそうです。

今後の保護司活動も対象者に寄り添い、見守って行ければ良いかなと語ってくれました。

〈インタビューー 澤田 明彦〉



## 保護司日記

### 親と子

【〇月〇日】初回面接で往訪する。少年の両親が出迎えてくれるが本人はけだるそうにただ座って待っている。親は特に指摘はしない。大切に育てることと過保護になることの境界線が家庭によって違うのだろうが、保護司になって少年を担当する度に親の責任の重さを痛感する。この子の幼いころはどんなだっただろう…

【〇月〇日】保護司になって初めて担当した外国籍の少年のことを、ふと思い出した。本人はとでも反省していて、仕事を頑張るって早く彼女と一緒にいたいと話して

いた。仕事の関係で転居し私の担当から離れたが、先日の新聞で逮捕されたことを知った。外国籍の少年には生きづらい環境なのか、それとも嘘をつくのが上手いのか、初めて担当した少年なので余計に気になった。

【〇月〇日】生活環境調整である家を訪ねた。引受人は50代の弟で両親と同居。引受人は体調を崩している。親はもっと深刻で、父親は余命の宣告までされていて、出所まで生きていられるかわからないと言う。家族は疲弊している。私はやるせない気持ちに押しつぶされそうになった。

【〇月〇日】観察所から新規の担当依頼

を受けたが、粗暴な対象者の為、先輩保護司と二人で担当してほしいとのことだった。もちろん了承して調査書が届くのを待っていたが、出所後に受け入れてくださった会社で、こともあろうか暴力事件を起こしてしまい調査書が届くのを待たずに終了したケース。

【〇月〇日】母親が「嘘をつく子で…」と言うので心して面談したが、私にはそう映らず暫く頭の隅に置いて保護観察をしていた。多少約束を破ることもあったが親から嘘つき呼ばわりされるほど?と疑問を持った。色んな親がいる。

(東部分区 K・S)

## 挑戦は続く—100kmウォークからの学び—

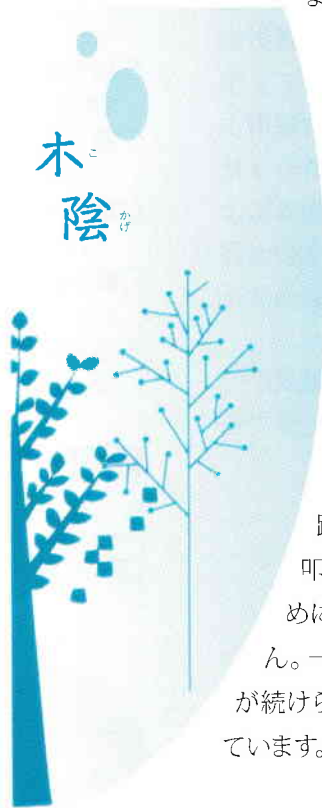
陽北分区 榎田 俊一

毎年春に塩谷で開催される100kmウォーク大会。走るのは苦手だが、毎朝の散歩が習慣の私。「長距離ウォークならいけるかも？」そう思って、昨年初めて挑戦しました。ネットの経験談を参考に用具を揃え、練習で歩く距離を延ばしました。しかし、昼夜を通して歩き続け24時間以内にゴールする過酷さを実感するにつれ、「本当に完歩できるのか？」と不安が募っていきました。

大会当日のスタート直後は高揚感から予定外のハイペースに。早くも足に疲労がたまり、休憩所での滞在も長くなりました。けれど一歩一歩を積み重ねるうちに心は落ち着き、本来のペースを取り戻せました。結果、目標だった20時間以内で完歩！

この挑戦で学んだのは、「段取り八分」と言われる入念な準備、そしてまず一歩を踏み出す勇気。困難に直面しても諦めずに続けることの大切さです。100kmという途方もない距離も、結局は一步一步の積み重ねでしか到達できません。そして、その一歩を踏み出し続けることは、特別な才能や技術が必要なわけではありません。

ゴールの瞬間の達成感は、忘れられない宝物です。あの感動を再び味わいたくて、今年も挑戦します！昨年は大会翌日、ひどい筋肉痛で動けませんでした。今年は同じ轍を踏まず月曜日には元気に事務所に顔を出せるよう、完歩後のアフターケアにも気を配り、この挑戦を心から楽しみたいと思います。



## 好きなこと

陽西分区 小林 純枝

「趣味はなんですか？」と聞かれると、私はサルサと和太鼓と答えます。サルサは18年、和太鼓は15年やっています。

どちらのサークルも、月1〜2回程度のゆる〜い練習、そして年に1度練習の成果を発表する場があり、その緩さと適度の緊張感のバランスの心地良さが、長く続いている秘訣かもしれません。日常ではとても着られない、かなり派手めの衣装を身につけての発表会は、なかなか気持ち良いものがあります。

サルサで私は最古参の最年長。一回り以上年下のメンバーが中心のサークルで、時には子どもと同年代のメンバーと踊ることも。若い仲間たちのおかげで必要に迫られInstagramやSpotifyが使えるようになりました。感謝しています。

一方、和太鼓で私は最年少で、少しだけ年上のお姉さん・お兄さんたちとの練習の合間のおしゃべりは楽しく、そして人生の参考にさせてもらっています。

ハイヒールを履いて踊り続ける足腰、太鼓を叩く腕力と背筋を保つためにジム通いも欠かせません。一日でも長く好きなことが続けられればなあ……と考えています。



## エールを送る

【〇月〇日】担当観察官より2号観察対象者の依頼電話あり。対象者の罪名・生活環境等を聞かすが、自分で対応できるか不安があった。観察官より、一度テレビ会議で面会しませんかと問われ了承した。

【〇月〇日】保護観察所においてテレビ会議で面会。緊張感を持ちながら面談に臨む。自己紹介後、いくつかの質問をしたが普通の少年の答えであった。

引受人の方への気持ちを教えてほしいと伝えたところ、「恩」を感じていると言ふ。自分をどんな時も迎えてくれるからと言

う。引受人への信頼を感じ、担当することを決めた。

【〇月〇日】保護観察所において、対象者・引受人・支援専門員・担当観察官と共に初回面談を行う。「私をどんな風にしたか」問う。「わからない」と答える。当然であると言いながら、これから時間をかけて話をしていきたいと伝える。

【〇月〇日】往訪にて、面談を行う。施設でのスケジュールやルールを確認する。スマートフォンの使用制限があるが納得している。言葉遣いやマナーを守り相手の気持ちを考えながら生活していく。不安や困ったことがあるときは相談するように伝えた。

【〇月〇日】往訪にて、面談を行う。いつもと違う表情をしている。「毎日がしんどい。」「もう、どうでもいい。」「という言葉が発した。気持ちがかなり揺れていることから担当観察官に報告し、対象者・引受人との面談を依頼した。

【〇月〇日】往訪にて面談。顔の表情がよかった。これからの目標は何かと問う。就労し自立したいと言う。まずは、アルバイトをし、貯金をする。振り返って少年院での生活で役立っていることはあるか問う。「自分を変えようと思うことが出来た。」「前向きな答えを得て、保護観察期間が終了した。 (西部分区 K・T)

宇都宮協力雇用主会保護司会合同研修会



- ・日 時 令和8年2月14日(土) 14:00~16:00
- ・場 所 コンセーレ小ホール
- ・主 催 宇都宮協力雇用主会・宇都宮保護区保護司会
- ・参加者 雇用主会8社 14人、保護司会 39人



高風間由美香氏より講話

研修会は宇都宮保護観察所統括監察官 高風間由美香氏より講話「更生保護における就労支援について」宇都宮協力雇用主会会員企業3社

からの事例発表が行われました。その後、参加者によるグループ討議を実施。テーマは「協力雇用主会と保護司会の連携強化広報活動」について活発な協議を行い、2グループより協議内容発表がありました。

参加者からは、時間は短かったがグループ協議ができたことや、協力雇用主の支援状況を知ることができ有意義であったとの声が多数聞かれました。



宇都宮協力雇用主会の企業の方々

【退任保護司】 令和7年度後期 (敬称略)

氏名	分区	就任年月日	在任期間
大日向照和	北部	H20.11.5	16年
大橋 清治	東部	H27.10.15	10年
高橋 治	陽北	H 5.10.15	32年

長い間お疲れ様でした

【特例再任保護司】 (令和7年10月15日付) (敬称略)

氏名	分区	部会
中山 敬子	陽東分区	広報部会

前回氏名の訂正 (115号5ページ新任保護司)

伊藤紀枝 → 伊東紀枝  
謹んでお詫び申し上げます

- 保護司会会計担当者会議 (8/1 尚徳会館集会室 17人)
- 第2回地域別定例研修会 (9/10 宇都宮市役所大会議室 113人)
- 第2回理事会 (9/26 宇都宮保護観察所 22人)
- 東京高等裁判所・法務省視察研修 (10/7 40人)
- 新任保護司辞令交付 (10/15 2人)
- 中間監査 (10/17 4人)
- 新任保護司オリエンテーション (10/28 保護司会事務所 5人(新任2人))
- 宇更女・保護司会合同研修会 (11/11・11/14・11/15 保護司会105人 宇更女42人)
- 栃木県更生保護事業関係者顕彰式 (宇都宮市文化会館)
- 第3回地域別定例研修会 (宇都宮市役所大会議室 84人)
- 第3回理事会 (12/10 宇都宮保護観察所 22人)
- 新年自主研修・懇親会 (1/20 宇都宮東武ホテルグランデ 85人)
- 協力雇用主会・保護司会合同研修 (2/14 コンセーレ 雇用主会 14人、保護司 39人)

新任保護司 (R7.10.15付)

アンケート内容

- ①趣味・特技 ②好きな言葉 ③抱負



いしだ こうたろう  
石田 弘太郎

陽南分区 協力組織部会

- ①読書 (ミステリー小説)、アニメ鑑賞
- ②山椒は小粒でもピリリと辛い
- ③これまでの経験を活かして頑張りたいと思いますのでよろしくお祈りいたします。



たかはし きよと  
高橋 清人

陽北分区 研修部会

- ①料理、ボードゲーム
- ②感謝、慎み、たすけあい
- ③若輩ですが、誠実に尽力し、信頼を得るべく努めます。

編集後記

★令和7年度から宇都宮保護区保護司会の新体制が動き始めました。加藤新会長の元、令和の保護司の理想像を求めて広報部も挑戦していきます！